

篠田桃紅美術空間 からのお知らせ



休館日のお知らせ

7月1日(火)～3日(木)まで作品入れ替え作業のため休館します。

「ライン河畔 07-7」
(2007年)

次回企画展

「かたちのことば」

1990年代の作品を中心に、桃紅の墨と筆から生まれたかたちとかたち、そして余白との語らいに注目し、その豊かな世界を紹介します。

会 期：7月4日(金)～9月28日(日)

入 館 料：高校生以上 300円
中学生以下無料

休 館：月曜日および祝日の翌日

開館時間：午前9時～午後4時30分

照 会 先：篠田桃紅美術空間
☎ 23-7756

岐阜現代美術館よりお知らせ

「小本章展 自然へ／自然から」

小本章は、岐阜で育ち、1970年代中ごろより、独自の表現スタイルを展開してきました。主な作品は、自然と環境への関心をテーマにし、自然の風景に造形を加えて写真にしたもので、自然と造形物が溶け込むようなイメージを作り出す作風で知られています。また、小本は1958年に西尾一三、後藤昭夫らと前衛美術グループ“VAVA”を結成するなど、関市ゆかりの注目すべき作家です。

本展では、関市および作家所蔵作品より、初期の抽象画から写真作品までを展示し、その足跡と新展開を見つめます。自然へそして自然から、その交感から生まれた小本の世界を紹介します。

会期：8月7日(木)～9月12日(金) 入館料：無料

休館：日曜日・祝日 開館時間：午前9時～午後4時30分

後援：関市 関市教育委員会

照会先：岐阜現代美術館（関市桃紅大地1番地）☎ 23-1210

ひとひと 女と男

ともに自分らしく生きよう vol. 49

さんかくサポーターの豆知識③

男女共同参画社会

「ドメスティック・バイオレンス」

照会先 さんかくサポーター事務局
(企画政策課内) ☎ 23-6831

ドメスティック・バイオレンス(DV)とは、夫婦や恋人などの親密な関係にあるパートナーに対してふるわれる「身体」や「心」への暴力のことです。殴る、蹴るの身体的暴力だけでなく、暴言をはく、交友関係を監視して自分だけの付き合いを強いる(精神的暴力)や性的行為を強要する(性的暴力)、お金を取り上げる、借金を重ねる(経済的暴力)といったことも全て含まれます。

防止及び被害者の保護に関する法律(DV防止法)は男女いずれも対象となっていますが、DVの被害者の多くは“女性”です。男女の社会的地位や経済力の格差、性別による固定的役割分担意識や女性の人権軽視のなごりなど、社会的・構造的な問題があります。DVは犯罪となる行為も含む重大な人権侵害です。私たち一人ひとりがいかなる暴力も許さないという気持ちを持ち、被害を受け苦しんでいる人たちが声を上げやすい社会づくりが大切です。〈F〉

こうしたあらゆる暴力を用いて相手を支配しコントロールすること、これが『DV』です。DVは夫婦だけの問題ではなく、若い恋人たちの間でも起きています。これをデートDVといいます。また、子ども時代に大人の暴力の光景を目撃することで成人してまた同じ行為の暴力を相手にする人もいます。

平成13年4月に制定された「配偶者からの暴力の

DV相談窓口

- 岐阜県配偶者暴力相談支援センター
☎ 058-274-7377
- 岐阜県警察ストーカー相談 110番
☎ 0120-794-3110
- NPO法人 手をつなぐ女たちの会
☎ 0575-25-1489